

石川すみえ にじいろ 通信

日本共産党板橋区議会議員 | 区政報告 | 2024年2月22発行号 (No.102)

プロフィール



石川すみえ、区議会議員（2期目）、健康福祉委員長。

専業主婦から、親子ひろばがなくなったこと&保育園に落ちたことがきっかけで、区議会議員に。住民の「リアル」な声、区政に届けています。

駅でのご挨拶

火曜日 大山駅南口

水曜日 小竹向原駅

金曜日 ときわ台駅南口

連絡先はこちら

事務所

板橋区小茂根2-27-11
03 (3974) 2405

板橋区役所内日本共産党議員団
控え室

03 (3579) 2717
chichikababu_@hotmail.com



一般質問を行いました

石川すみえは14日に一般質問に立ちました。その一部を紹介します。

区立天津わかしお学校について

石川) 天津わかしお学校は、喘息や虚弱などの児童の転地療養を目的に設置された区が運営する特別支援学校。今年度は、天津わかしお学校の在り方検討の最終報告をする年度である。平成28年1月の在り方検討最終報告の運営基準では「著しく児童数が減少し、回復の見込みがない場合には、閉校を検討する」とあるが、現在の天津わかしお学校はこの運営基準に該当するのか。

教育長) 児童数の推移からすると、著しく減少している状況ではなく、児童数も増加傾向であることから、現時点では閉校を検討する基準には該当していないと

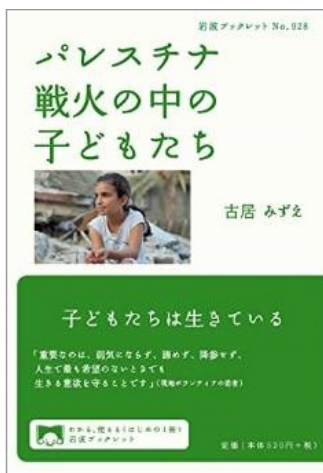
3月の相談会

石川事務所では、毎月「なんでも相談会」を行なっています。

3月の相談会は10日の第二日曜日、午後2時～4時、1組30分制です。城北法律事務所の弁護士も同席します。

場所は小茂根の事務所（小茂根2-27-11、03（3974）2405）。事務所か、区役所の共産党区議団控室（03（3579）2717）までご連絡ください。

ちやまの読書日記



『パレスチナ 戦火の中の子どもたち』

古居みずえ／著、岩波書店、2015年。

判断している。

防災にこどものケアの視点を

石川) 子どもたちは体力がある分、ストレスを自覚しにくいところがある。ストレスを解消するには、子どもたちがいつもどおり遊べる時間と場所を確保することが一番有効だと専門家は指摘している。板橋区の避難所マニュアルに、子どものケアの視点で居場所の確保、専門家の派遣を明記すべき。また、区の災害対策に子どものケアの視点を持つべきである。

区長) 避難所運営マニュアルには、子育て家庭のニーズの把握について記載があり、各避難所において一定の対応を想定している。また、避難所生活が長期化する場合においては、生活復興マニュアルに基づき、子どものケアの視点での居場所の確保や専門家の派遣を行う予定。

板橋交通公園について

石川) 現在、交通公園の様々な乗り物は、子どもたちが無料で使うことができる。再整備後も無料で利用できることを求める。

区長) 板橋公園で無料貸出しを行っている自転車やゴーカートは、不特定多数の子どもたちが広く日常的な利用に供する施設であるために、現在は全額を公費負担によって賄っている。こうした施設は、基本的に再整備後も無料提供を継続するが、高額な設備投資を伴うものや燃料を必要とするものなど、受益者負担を求める必要がある施設については有料になると考える。

他、病児病後児保育、福祉事務所等のあり方、社会保障の負担軽減を、「こどもを殺すな！ガザの即時停戦の声を」など取り上げました。